

連日暑い日が続いています。そんな中、校長室に聞きなれない小鳥のさえずりが聞こえてきました。目を外に向けると、放送用の白いポールの上に、おなかのあたりが白い小鳥がとまっていました。あとで聞くとところによると、「ジジュウカラ」だそうです。もっと聞いていたいなと思ったのですが、すぐにどこかへ飛んで行ってしまいました。今度は誰かに「シジュウカラだよ。」と教えてあげたいと思いました。



いよいよ明日から夏休みが始まります。今年の夏休みは、34日間です。海や山へ出かける方も多いと思います。楽しくて思い出いっぱいの夏休みになってほしいと思っています。

《 救急法講習会 》

7 月 18 日火曜日、PTA 保健環境部主催による救急法講習会を 1 年生の保護者を対象に開きました。子供たちに少しでも水泳や水になれる機会を多く持ってもらいたいという願いのもと、今年の夏休みは、4 年ぶりに学校のプールを開設することといたしました。そのために、1 年生の保護者の皆様には、お忙しい中ですが、プールサイドに立ち、監視をお願いすることとなっています。今回の講習会ではその時に役立つものとして救急時の応急処置について学びました。講師には、日本赤十字社より、ボランティアの方 2 名においでいただきました。講習では、まず心肺蘇生法(心臓マッサージ)を学びました。続いて、AED の使い方を実際の場面を想定しながら学びました。



救急法講習会の様子

体育館の中は 30 度を超える暑さでしたが、皆さん汗だくになりながら、真剣に講習を受けていました。

《 着衣泳 》

7 月 19 日水曜日、5.6 年生を対象に着衣泳の授業を行いました。これはこれから始まる本格的な夏のシーズンを前に、水辺における水難事故を防ごうと行われたものです。講師として白根 B&G 海洋センターから 2 名の先生に来ていただきました。

子供たちは体育着の上下を着たまま水に入り、歩いてみたり、クロールやバタ足で泳いでみたりしました。水の中では濡れた着衣はとても重いみたいです。手足を思うように動かすことができず、歩くのも泳ぐのもとても大変そうでした。講師の先生からは、服を着たまま水の中に入ってしまった場合の体の動かし方、浮き方、泳ぎ方についてお話があり、子供たちは真剣に聞いていました。



着衣泳の様子

《 リコーダー演奏会 》

7月19日水曜日、3年生のためのリコーダー演奏会が体育館で開かれました。これは、今年初めてリコーダーを習った3年生にリコーダーの素晴らしい演奏を聞いてもらおうと行われたものです。演奏を聞かせてくれたのは、3年生の理科の授業でお世話になっている石川奈緒美先生や新採後補充の金井厚子先生、そして、昨年度まで白根百田小学校に勤務されていた長澤久美子先生などがメンバーになっている「ムーンロード」の皆さんです。メンバー全員豊かな教職経験があり、しかも、音楽に堪能な方ばかりです。曲目は「カントリーロード」や「もののけ姫」や「ふるさと」など、3年生のよく知っている曲でした。きれいな音色と美しいハーモニーを十分に感じ取ることができる素敵な演奏会でした。3年生からはお礼の気持ちを込めて「はじめの一步」を元気よく歌って贈りました。3年生は、上手なリコーダーの演奏を聞いて、今吹ける「ソラシド」より音を増やして、もっと上手になるようにいっぱい練習したい気持ちになっていました。



夏休みがアツと言う間に過ぎてしまわないために・・・



「何もしないでダラダラ過ごしていたら、あっという間に夏休みが過ぎちゃった〜。」これだけは、夏休みの過ごし方として、避けたいですね。私は、小学生の頃、夏休みの計画を立てるのがとても好きでした。1日のタイムスケジュールを考えるのも好きでしたが、予定表にいろんな計画や予定を書き込むのがとても好きでした。夏休みのことを思い、ワクワクしながらいろんな予定を書き込んでいったことを思い出します。夏休みの始まる1週間前位がワクワクのピークだったでしょうか。誰々おばちゃんの家に行く、海に行く、東京の親戚の家に行く、花火大会に行く、自由研究をする、読書感想文を書く、盆踊り大会に行く、夜のお祭りに行く、お盆さん(親戚が集まる)、学校のプールに行く、町のプールに行く、いとこが来る、父の仕事についていく、などなど。そして、たくさんのイベントや計画や予定を実際にやって、たっぷり夏休みがおくれたなあと思っていました。でも、大人になると夏休みがあっという間に過ぎてしまう。そんな気がします。やはり大人になると、子供の頃のようなワクワクしたイベントや予定をいっぱい入れられないからかなあと思っています。ということで、やっぱりワクワクするようなイベント、非日常的な体験は、心にいっぱい思い出として残るのだと思います。それがきっと「あっという間に過ぎてしまわない夏休み」につながっていくのかと思います。

仕事などもあり何かとお忙しい中とは思いますが、子供たちとどんなことでもいいので、イベント(ちょっとした日常的ではない体験)をいっぱい作っていただければと思います。もちろん、めったにできないこともできると最高だと思います。ぜひ、この夏休み、子供たちと一緒にいっぱいイベントを楽しんでいただければと思います。